

研究業績一覧 (2021年)

飯塚 信夫 (イイツカ ノブオ)

1 論文

「経済統計推計における税務データ活用の可能性」、『EBPM に向けた経済データ分析』、東京財団政策研究所 REVIEW No.9、pp.20-23、2021年3月

2 その他

国際経済交流財団『Japan Spotlight』における以下の連載

「Economic Indicators for Japan」

- Inflation Rate Turns Negative on Reference Year Revision (2021年11/12月号)
- Number of Deaths in Japan Declined in 2020 (2021年9/10月号)
- Japanese Labor Market Under the Coronavirus Pandemic (2021年7/8月号)
- Impact of the Coronavirus Pandemic on the Food Service Industry (2021年5/6月号)
- Impact of the Coronavirus Pandemic on Railway Transportation (2021年3/4月号)
- Standards Revised for Japan's GDP (2021年1/2月号)

出雲 雅志 (イズモ マサシ)

1 その他

「大熊信行：異彩を放った歌人の経済学者」神奈川大学資料編纂室編『神奈川大学人物誌：神奈川大学編』38-41、2021年3月

「宮村タネ：和服姿で英語を教えた女性教員」神奈川大学資料編纂室編『神奈川大学人物誌：神奈川大学編』110-111、2021年3月

「山口茂：経済学と自然に人間の道をたずねた義人」神奈川大学資料編纂室編『神奈川大学人物誌：神奈川大学編』120-123、2021年3月

「コラム：書き残された初期の女子学生像」神奈川大学資料編纂室編『神奈川大学人物誌：神奈川大学編』130-135、2021年3月

岩田 真一郎（イワタ シンイチロウ）

1 論文等

岩田真一郎・行武憲史（2021）「住宅資産と高齢者の消費行動」『季刊住宅土地経済』
No.121、19-27頁

Iwata, S. and Kondo, K. (2021). The spillover effects of compact city policy on incumbent retailers: Evidence from Toyama City. RIETI Discussion Paper Series 21-E-085

2 学会発表

Iwata, S. and Kondo, K. (2021). The spillover effects of compact city policy on incumbent retailers: Evidence from Toyama City. 応用地域学会、2021年11月

浦沢 聡士（ウラサワ サトシ）

1 論文等

『日本経済読本（読本シリーズ）（第22版）』東洋経済新報社、2021年11月（共著）

「GDP ナウキャストイング：成果と課題」神奈川大学『Kanagawa University Economic Society Discussion Paper』No.2021-01、2021年6月

2 学会発表

「GDP ナウキャストイング：成果と課題—オルタナティブデータの活用に向けて—」経済統計学会第65回（2021年度）全国研究大会、2021年10月

3 研究助成

「リアルタイム・データを用いた GDP 予測手法の開発」日本学術振興会：2021～2022年度、科学研究費助成事業研究活動スタート支援

枝村 一磨（エダムラ カズマ）

1 研究発表

“Corporate-University Research Collaboration: New Evidence from Japan,” Asia-Pacific Innovation Conference 2021, Zhenjian, China. 2021年12月4日

「日本の産業進化とイノベーション」2021年度組織学会研究発表大会、東洋大学、2021年6月6日

“Impact of collaboration between firm and university on firm performance” The World Congress of the International Network of Research Management Societies (INORMS2021), the Interna-

大島 朋剛 (オオシマ トモタカ)

1 学会報告

「鹿角郡花輪町旧関善酒店文書をめぐる諸問題—酒造家及び地主・名望家の側面から—」秋田近代史研究会2021秋季研究会（花火伝統文化継承資料館 はなび・アム）、2021年11月7日。
※富善一敏（東京大学）・大澤篤（兵庫県立大学）との合同報告

2 研究助成

「近代日本における酒類消費に関する研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度～21年度）、課題番号：17K03852
「近代伏見酒造業の発展と都市化に関する総合的研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度～21年度）、課題番号：17K03836

小山 和伸 (オヤマ カズノブ)

1 論文

“Entrevue sur le problème du développement d'énergie de nucléaire“, 『商経論叢』第57巻第1・2合併号、2021年10月、171-181頁
“Japanese leadership in the case of the Fukushima nuclear accident“, Fondation France-Japan de L'EHESS Research Statement, 2021. 4. 1

工藤 喜美枝 (クドウ キミエ)

1 著書

『読み書きプレゼン—よくわかる Office2019・Microsoft365—』ムイスリ出版、2021年4月
（共著、全体構成・Office編・Word編担当）

五嶋 陽子 (ゴトウ ヨウコ)

1 著書

鳴瀬成洋・飯塚信夫（共編）『経済入門』培風館、2021年5月
（分担執筆：第5章 財政）、55-70頁

呉 春美 (ゴハルミ)

1 著書

- 『英文ビジネスEメール&英文法』教科書(単著) 神奈川大学生協、2021年4月1日
『都市科学事典』横浜国立大学都市科学部編集(分担執筆)「2-4-1 都市のスケープと共生の構図」170-171頁、春風社、2021年3月8日

2 講演

- 「共生都市東京とQOL：パラリンピックからみる共生社会」(東京都立大学プレミアム・カレッジ)、2021年11月19日
「国際ビジネス・キャリアデザインに求められる語学力～貿易・広告・企業コンサルの事例から～」(横浜中華学院)、2021年6月15日

佐藤 睦朗 (サトウ ムツオ)

1 研究ノート

- 「1860年代のフェーダ教区における土地整理」『商経論叢』第56巻第2・3・4合併号(2021年2月)、19～30頁

寺嶋 正尚 (テラシマ マサナオ)

1 書籍

- 寺嶋正尚編著『AI経営のリスクマネジメント』日本経済新聞出版、2021年3月

2 論文

- 矢島正・寺嶋正尚「最寄品卸売業のキャッシュ・コンバージョン・サイクルに関する研究」『産業能率大学紀要』42(1)、17-32頁、産業能率大学、2021年9月(査読あり)
田口裕基・寺嶋正尚・欧陽菲「若年層における香辛料の好感度に関する研究—食意識やライフスタイルとの関係性の視点から—」『産業能率大学紀要』42(1)、33-52頁、産業能率大学、2021年9月(査読あり)
寺嶋正尚・桐生進「鉢物流におけるハーフ台車活用に関する研究」『日本物流学会誌』29、125-132頁、日本物流学会、2021年6月(査読あり)
寺嶋正尚「改正卸売市場法の施行が花卉流通及び花卉卸売業に与える影響—インタビュー調査に基づく考察—」『経済貿易研究』47、63-82頁、神奈川大学経済貿易研究所、2021年3月
寺嶋正尚・都留信行・武内千草「高松丸亀町商店街にみる生活者志向のまちづくりに関する研究」『産業能率大学紀要』41(2)、31-45頁、産業能率大学、2021年2月(査読あり)

3 学会報告・研究会報告

白土由佳・寺嶋正尚（共同発表）「SNS 情報にみる商店街と大学の関係性に関する考察—横浜・六角橋商店街と神奈川大学の事例—」2021年度余暇ツーリズム学会・全国大会（西南女学院大学）、余暇ツーリズム学会、2021年10月30日

寺嶋正尚・桐生進（共同発表）「花卉の取引制度改定がケース単価及び入数に与える影響」第38回・日本物流学会・全国大会（神奈川大学）、日本物流学会、2021年9月18日

4 雑誌等

寺嶋正尚「AI の判断ミスは誰が責任をとるべきか？」『月刊ロジスティクス・ビジネス (LOGI-BIZ)』245、14-18頁、ライノス・パブリケーションズ、2021年8月

寺嶋正尚・桐生進「卸売市場法改正に商機を見出す花き卸—大田花き、南関東花き園芸卸売市場、新花」『月刊ロジスティクス・ビジネス (LOGI-BIZ)』238、34-38頁、ライノス・パブリケーションズ、2021年1月

道満 治彦（ドウマン ハルヒコ）

1 論文

「日本における再生可能エネルギーの「優先接続」論争の論理的帰結—EU 指令および日本における政策決定過程からの示唆—」『経済貿易研究』第47号、2021年3月、1-22ページ

「気候危機時代における環境政策と企業—気候中立とコロナ後のグリーン・リカバリーに向けて—」『比較経営研究』第45号、4-54ページ

2 学会報告

「欧州グリーンディールの前提条件としての再エネ政策—日 EU 比較からの示唆—」日本国際経済学会第80回全国大会、2021年10月23日、東京大学（※ web 会議システム）

3 その他

公開講演会「欧州グリーン・ディールと日本」、立教大学経済研究所主催、2021年3月2日、オンライン開催、司会

戸田 龍介（トダ リュウスケ）

1 論文、その他

「日本会計史学会第39回大会大会記」『日本会計史学会 学会年報』2020年度第39号、2021年11月、89-92頁（単著）

「国際会計基準（IFRS）採用企業による公正価値測定に関する調査(2)—Cambium（ブラジル森林地投資企業）グループの2019年度アニュアルレポートを対象として—」『商経論叢』第

57巻第1・2合併号、2021年10月、183-204頁（単著）

座長としての統一論題討論要約（日本会計研究学会第79回大会：統一論題テーマ「会計思考の継承と発展」、統一論題第二会場テーマ「北海道から考える会計」）『會計』第199巻第4号、2021年4月、93-94頁（単著）

「継承・発展すべき会計思考についての一考察」『會計』第199巻第1号、2021年1月、57-68頁（単著）

2 学会開催準備委員長、学会報告司会等

準備委員長（日本簿記学会第37回関東部会、神奈川大学主催 ZOOM 開催、6月26日）、部会テーマ「複式簿記とは何であり、何であり得るか」

スタディグループ報告司会（日本会計研究学会第80回大会、九州大学主催 ZOOM 開催、9月9日）、主査：浅見裕子（学習院大学）、論題：「のれんの会計処理に係る包括的報告」（中間報告）

学会報告司会（日本会計史学会第40回大会、西南学院大学主催 ZOOM 開催、岡嶋慶報告「日本における監査プロフェッションの形成—比較史からみたその独特性—」、および杉田武志報告）イギリス東インド会社の複式簿記の役割—私貿易とガバナンスの観点から考える—」に対して、10月30日）

3 研究会報告、外部資金獲得状況等

研究会報告論題：国際会計基準（IAS）第41号『農業』適用企業による公正価値測定に関する調査—Altri（ポルトガル森林企業）グループ、Holmen（スウェーデン森林企業）グループおよび Cambium（ブラジル森林企業）グループの2019年度アニュアルレポートを対象として—（九州会計研究会、対面および ZOOM 使用のハイブリッド開催、12月11日）

研究会報告論題：「IAS 第41号『農業』適用企業による公正価値測定の実態について—Astarta、Holmen および Marine Harvest グループの2012年度アニュアルレポートを対象として—」（九州会計研究会、ZOOM 開催、4月17日）

日本会計研究学会 評議員再当選（任期：2024年9月迄）

日本簿記学会 理事再当選（任期：2024年9月迄）

外部資金獲得：令和3（2021）年度～令和6（2024）年度・科学研究費補助金・基盤研究（C）、課題番号21K01797、課題名「生物資産会計および自然資本会計を手掛かりとする会計全体枠組みの再構築」

灘山 直人（ナダヤマ ナオト）

1 学術論文

A. Lindblom, N. Nadayama, K. Asakawa & R. Cuthbertson (2021) "De-internationalization of Transactional Platforms: An Exploratory Case Study" *The International Review of Retail, Distribution and Consumer Research*, <https://doi.org/10.1080/09593969.2021.2016471>

2 学会発表

- N. Nadayama & K. Asakawa (2021) "Subsidiary Managers' Reaction to Headquarters' Decision Making of Divestment", Academy of International Business (AIB), Annual Conference, Online
- N. Nadayama (2021) "Subsidiary Managers' Reaction to Headquarters' Decision Making of Divestment" 一橋大学 IIR Summer School 2021, (Best Presentation Award)

3 研究ノート

- 「孤立型海外子会社に関する研究の方向性」『神奈川大学アジア・レビュー』Vol. 8、pp.70-72

鳴瀬 成洋 (ナルセ シゲヒロ)

1 著書

- 『初めて学ぶ人のための経済入門』[改訂版] (共編) 培風館、2021年5月、第10章「国際経済—貿易・国際収支・為替レート—」129~147ページ、第13章「戦後世界経済—自由貿易体制の展開とグローバリゼーション—」174~192ページ
- 『地球経済入門—一人新世時代の世界をとらえる』(共著) 妹尾裕彦・田中稜一・田島陽一編、法律文化社、第3章第3節「国際貿易の基礎理論：比較優位の原理」2021年3月、48~58ページ

兵頭 昌 (ヒョウドウ マサシ)

1 学術論文

- T. Nakagawa, H. Watanabe, M. Hyodo "Kick-one-out-based variable selection method for Euclidean distance-based classifier in high-dimensional settings" *Journal of Multivariate Analysis*, Vol.184, 2021, doi:10.1016/j.jmva.2021.104756 【査読あり】
- M. Hyodo, T. Nishiyama, "Simultaneous testing of the mean vector and covariance matrix among k populations for high-dimensional data" *Communications in statistics – Theory and Methods*, Vol. 50(3), pp.663-684 【査読あり】

2 学会発表

- T. Nishiyama, M. Hyodo, T. Pavlenko 「A two sample Behrens-Fisher problem for factor models in high dimensions」、科研費シンポジウム International Symposium on New Developments of Theories and Methodologies for Large Complex Data、2021年11月5日~2021年11月6日 (つくば国際会議場 大会議室102, ハイブリッド型)
- T. Nishiyama, M. Hyodo 「On the multiple comparison procedures among mean vectors for high-dimensional data under covariance heterogeneity」、International Conference on Econometrics and Statistics、2021年6月24日~2021年6月26日 (Virtual Conference (hosted by Hong

Kong University of Science and Technology))

中川智之・渡邊弘己・兵頭昌「ユークリッド距離に基づく判別分析の変数選択について」、応用統計学会2021年年会、2021年5月15日（オンライン）

3 研究助成

「標本分布の歪みに対処した新たな高次元統計解析の開発」日本学術振興会：2020-2024年度科学研究費助成事業 基盤研究（C）（統計科学関連）（研究代表者）

4 その他

【役職】

2021年度統計関連学会連合大会 プログラム委員会

日本数学会「数学」編集委員会 常任編集委員

日本計算機統計学会 企画理事

舟橋 秀治（フナハシ ヒデハル）

1 学術論文

“Artificial Neural Network for Option Pricing with and without Asymptotic Correction,” *Quantitative Finance*, 21(4), 2021, 575-592（単著）

“Replication Scheme for the pricing of European Options,” *International Journal of Theoretical and Applied Finance*, 2150014, 2021, 1-37（単著）

「派生証券の価格評価における人工知能の活用とその展望」『経済貿易研究』No.47、2021年3月、23-37（単著）

2 招致講演

“Deep Learning and Asymptotic Expansion for Derivatives Pricing”「金融工学・数理計量ファイナンスの諸問題2021」全国学会（大阪大学数理・データ科学教育研究センター 金融・保険部門）2021/12/02（単独）

松村 敏（マツムラ サトシ）

1 論文

「明治期における旧長州藩主毛利家資産の由来と性格—加賀前田家との比較で—」『商経論叢』第57巻第1・2合併号、2021年10月、1-170頁

2 学会報告

「明治期における旧長州藩主毛利家資産の由来と性格—加賀前田家との比較で—」社会経済史

学会全国大会（オンライン開催）、2021年5月15日

3 その他

『新修小松市史』資料編18近現代、2021年3月、第1部第2章、46-75頁

三島 斉紀（ミシマ ムネノリ）

1 論文

「アルダファーE.R.G.理論における被験者たちについて—彼の1972年著作とマズロー理論との比較を中心に—」（単著）『商経論叢』、神奈川大学経済学会、第56巻第2・3・4合併号、2021年5月、1-17頁

2 学会・研究会報告

「アルダファーE.R.G.理論における被験者たちについての懸念—マズローが自己実現論で挙げた被験者たちとの齟齬—」日本経営学会 関東部会（中央大学；オンライン開催）、2021年3月

「アルダファーがE.R.G.理論のために調べた被験者たちは、マズローが自己実現論で挙げた被験者条件と合致しない」日本経営学会 第95回大会（同志社大学；オンライン開催）、2021年9月

山本 崇雄（ヤマモト タカオ）

1 著書（分担執筆）

「アジア新興国における初等算数教育と日本企業の教育関連ビジネス—すららネットを事例として—」、田中則仁（編著）『アジアのグローバル経済とビジネス』文真堂、pp.185-207、2021年3月発行

2 学会報告

「同族企業の異質性と海外進出の関係」、国際ビジネス研究学会第27回全国大会（専修大学；オンライン開催）、2021年11月7日、共同報告：大東和武司・岸本寿生・竹之内秀行・竹之内玲子

「地域同族企業の国際化—その制約と克服にかかわるひとつの検討—」、国際ビジネス研究学会第57回関西部会・第105回関東大会合同部会（オンライン開催）、2021年8月30日、共同報告：大東和武司・岸本寿生・竹之内秀行・竹之内玲子

「中堅・中小企業の海外進出—日系同族企業の事例—」、国際ビジネス研究学会第15回中四国部会（オンライン開催）、2021年5月8日、共同報告：大東和武司・岸本寿生・竹之内秀行・竹之内玲子

3 その他

「アジア新興国における日本企業の教育ビジネス」、神奈川大学アジア研究センターシンポジウム「グローバル経済とビジネス アフター・コロナのビジネス環境」、研究報告とパネルディスカッション、2021年11月13日

山本 博史（ヤマモト ヒロシ）

1 一般向けの研究報告

「評論の言葉 格差拡大をどうするか」『神奈川大学評論』第98号、2021年7月

横川 和穂（ヨコガワ カズホ）

1 著書

『アジアのグローバル経済とビジネス』第3章「ロシアの東方シフトとアジア諸国との経済関係—ロシア極東地域の活性化はなるか」文真堂、2021年3月（共著）

2 研究会報告

「ロシアの地域社会とソーシャル・キャピタルに関する研究動向」比較経済体制研究会、ZOOM 開催、2021年12月11日

「サハ共和国における財政状況について—財政調整制度を中心に—」ArCS II 社会文化課題第2班2021年度第2回研究会、於：北海道大学東京オフィス、2021年11月11日

「ロシアにおける中央集権化と地域間財政格差」比較経済体制研究会第40回年次研究大会、ZOOM 開催、2021年8月29日

「サハ共和国における財政状況について」ArCSII（北極域研究加速プロジェクトII）文化社会課題第2班2021年度第1回研究会、於：北海道大学（ZOOM 参加）、2021年8月21日

「ロシアの地域社会とソーシャル・キャピタルに関する予備的考察」京都大学経済研究所マクロ経済学・経済システム研究会（比較経済体制研究会共催）、ZOOM 開催、2021年2月26日